

ピラルビシン（商品名：テラルビシン注射用）

【起こる可能性のある副作用】

◎血管外漏出

- ・ 静脈に投与した薬が血管外に漏れ出てしまうことがあります。
- ・ 大きな傷となってしまう可能性がありますので、注射部位の周りを観察し、痛みや腫れ、赤みや熱感を感じた場合は速やかに職員に声をかけてください。

◎悪心・嘔吐

- ・ 治療前に吐き気を予防するお薬を使用します。
- ・ 予防薬の効果が十分得られない場合は、予防のお薬を追加する場合があります。

◎着色尿

- ・ お薬の色により、治療後約 1 日は尿の色がピンク、オレンジ色に変化することがあります。

◎骨髄抑制（目安の時期：1 週間後以降）

- ・ 白血球/好中球数減少（感染症にかかりやすい、発熱）、血小板減少（鼻血、あざができる、出血しやすい）、貧血（めまい、息切れ、疲れやすい）が起こることがあります。

◎脱毛

- ・ 治療開始 2～3 週間後から脱毛が始まる場合があります。
- ・ 多くの場合、治療終了後数か月経過すると再び毛が生え始めますが、毛質が変化することがあります。
- ・ 毛髪以外（眉毛、ひげ、体毛など）も脱毛は起こります。

◎心機能障害

- ・ 繰り返し投与することで、心臓の働きに影響を与えることがあります。
- ・ 心臓のポンプ機能が低下することにより息切れや動悸、体重増加やむくみなどの症状が現れることがあります。

ここに挙げたものは主な副作用です。ここに挙げていないものも起こる可能性があります。ささいなことでも遠慮なく主治医・看護師・薬剤師に連絡をしてください。